

西小コミュニティ通信

幌別西小学校が展開している「コミュニティ・スクール事業」をご紹介します

ふれあいDAYへのご来校ありがとうございました

11月9日のふれあいDAYには、保護者・地域の方あわせて230名近くの来校者がありました。

道徳や生活科の発表会などの日常の授業に加えて、3・4年生は室蘭市役所情報担当、5・6年生はソフトバンクから講師を招いて「ケータイ教室」を行いました。3・4年生の講座ではネットゲームの課金の注意点や画像や個人情報の扱い方、5・6年生は「便利なツールであるスマホでも、使い方を間違うと大変なことになる」ことについて、事例を交えながら講話がありました。

ネット利用の低年齢化が急速に進んでいます。そして、ネットやSMSの技術も常に進化しており、過去の知識や経験だけでは大人でも対応できなくなっています。大人も、正しく新しい情報を身に付けることが子供を守ることにつながるので、このような機会を使いながらも、大人も学ぶことが大切になるのだと思います。「子供任せ」が一番危ないのです。



第2回学校運営協議会も行われました

令和元年度第2回目の学校運営協議会を、ふれあいDAYに合わせて開催しました。

学校改善プランをもとに学校評価や体力テスト、学力状況調査から見てくる成果や課題、令和3年度の70周年記念事業、9月に行われた連合町会・小中合同津波避難訓練の反省等を説明した後、委員の皆様からご意見をうかがいました。

教員は、子どものメディア使用等、生活習慣に危機感を感じているが、保護者や子供はそうでもない。保護者の意識が追いついていないということが言えるのではないか。

70周年記念事業については、過去の取組を踏まえて進めていくことが必要だ。



町会との合同避難訓練は、家からの避難場所を子供が理解するという点ではある一定の成果が得られた。ただし、実際に事が起きた場合の住民の備えという点では考えなければならない問題が多い。

ふれあいスポーツレクも行われました

ふれあいDAY 同日の午後、約60人ほど集まり、玉入れや障害物リレー、ポテチ食い競争、じゃんけん大会など、スポーツレクを楽しみました。そして最後にいっぱい景品をもらって、大人も子供も笑顔満開でした。



「幼稚園⇔小学校⇔中学校」の連携を進めています

11月6日に、1年1組の菊池教諭の国語の研究授業に、白菊幼稚園の先生2名と、カトリック聖心幼稚園の先生2名が参加して、幼小合同の授業研究を行いました。授業参観とその後の授業改善のための話し合いを行い、最後に登別市の幼小連携推進リーダーの登別小・柳瀬教諭から幼小連携についてのお話を頂きました。

また、11月13日には、西陵中学校の公開研究会に西小学校の教員全員で参加し、中学校の授業改善についての授業参観や話し合いに参加しました。

このように、登別市は地域の教育機関が連携の機会を持つことで、地域が一体になって子供を育てる体制を作り、学校間の段差をなくして教育効果を高める取組を進めています。



発行：令和元年11月18日 第6号 登別市立幌別西小学校（学校運営協議会事務局）
TEL：0143-85-2364 FAX：0143-85-2025

◇この「西小コミュニティ通信」は、本校が推進するコミュニティ・スクール事業の活動を保護者、地域の皆様にご紹介する広報紙です。